

## 平成21年度 生涯学習推進担当の取組方針結果報告書

### 職員の意識改革

#### ○(取組方針) 組織力の維持・向上

##### (取組結果およびその評価)

共通の認識を持って業務を行うことができるよう職場内での打合せを定期的を実施し、職員間における意思の疎通や情報の共有化を図り、組織力の維持・向上に努めました。

##### (今後の方針)

職場内の打合せを定期的を実施し、職員間における意思の疎通や情報の共有化により、組織力の維持・向上について、一定の効果があるため今後も継続して実施していきます。

### 業務点検(コンプライアンスの確保を含む)

#### ○(取組方針) 進捗状況の把握

##### (取組結果およびその評価)

事務事業の実施に当たり、週に1回、部内各課との個別ヒアリングを行い、各業務の作業点検、進捗状況の把握や指導、監督に努めたことにより、管理体制の強化を図りました。また、予算の有効活用やコスト意識を持った執行を行いました。

##### (今後の方針)

部内の各課協議は今後も継続して行い、基礎的な業務の遂行として報告、連絡、相談などの徹底を図っていきます。

### 市民からの信頼回復

#### ○(取組方針) 市民からの信頼回復

##### (取組結果およびその評価)

事務のチェックなどの処理を怠ることなく、積極的な説明や情報提供に努めました。

##### (今後の方針)

今後も事務のチェックなど複数で行い、市民からの問い合わせについては、丁寧な対応に努め、併せて必要に応じて十分な情報提供を行っていきます。

### 子どもが元気に育つまち

#### ○(取組方針) 子どもが元気に育つまち

##### (取組結果およびその評価)

日頃から文化、芸術にして親しめるような環境づくりに努め、生涯にわたる学習意識の土壌づくりに努めるとともに、子どもを対象とした事業を行いました。

(今後の方針)

今後も市民文化祭等のうち、子どもも参加できる事業を実施していきます。

### 高齢社会への対応方針

#### ○(取組方針) 高齢社会への対応方針

(取組結果およびその評価)

近年、市民の自主的で、創造的な文化活動などで高齢者の参加が、活発になってきており、各種文化・芸術イベントや行事の実施に当たり、安全確保や参加しやすい条件整備と情報提供の充実を図りました。

(今後の方針)

今後も市民文化祭等の高齢者も気軽に参加できる事業を実施し、また、鎌倉芸術館のバリアフリー対策として大ホール内のエスカレーター設置を行いました。

### 重要な取組方針

#### ○(取組方針)(1)野村総合研究所跡地の整備

(取組結果およびその評価)

整備計画の見直しを行い、鎌倉博物館、鎌倉美術館及び跡地の活用について、「今後の基本方針」をまとめました。

(今後の方針)

「今後の基本方針」に基づき、検討、整備等を進めていきます。

#### ○(取組方針)(2)鎌倉市川喜多映画記念館建設事業

(取組結果およびその評価)

鎌倉市川喜多映画記念館の建設工事の状況については、平成21年10月に竣工し、外構工事は平成22年1月に竣工しました。また、指定管理者の選定を公募で行い、川喜多・イオンディライトグループに指定しました。平成22年4月に鎌倉市川喜多映画記念館を開館することができるための準備を行いました。

(今後の方針)

平成22年4月に鎌倉市川喜多映画記念館を開館し、指定管理者と協議しながら効果的な運営体制を目指していきます。

#### ○(取組方針)(3)愛唱歌の作成

(取組結果およびその評価)

市制施行70周年に当たり、郷土愛の醸成を図るため、市民公募にて愛唱歌を決定しました。鎌倉市市制記念日の11月3日に作詞、作曲者の表彰と愛唱歌の発表を行い、CDを作成し、子どもたちに配布しました。

(今後の方針)

今後は愛唱歌が、親しまれ、歌い継ぐことができるよう、学校や市の行事などで演奏を行い、広く普及に努めていきます。

○(取組方針)(4)鎌倉芸術館の管理運営

(取組結果およびその評価)

指定管理者による運営は、指定管理者の持つノウハウを積極的に発揮し、高い実績と評価をあげており、今後もさらに高い実績が見込まれます。

バリアフリー対策としてのエスカレーター設置工事が完了し、利用者の利便性が向上しました。

(今後の方針)

平成22年度は第1期の指定期間最終年度になりますが、現在の順調な管理運営体制を推進し、より効果的な事業遂行を目指すとともに、次期指定期間への円滑な継承を図ります。

修繕においては、公共ホールとしての機能を高めるよう、また、老朽化への対応を考慮し、今後も計画的な修繕の実施を図っていきます。